

バリアフリーまちづくり通信

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和7年5月号



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

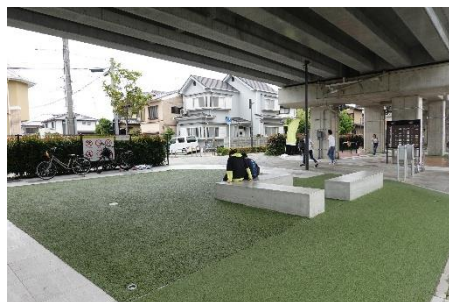
第55回 まちづくり構想部会を開催しました 令和7年5月10日

阪急電鉄のご案内のもと、高架下空間の利活用事例の現場見学(阪急洛西口駅～桂駅)を行いました。

現場見学会

- ◆淡路駅周辺で進む阪急連続立体交差事業に伴う高架下の利活用を考えるため、阪急洛西口駅～桂駅間の高架下空間の利活用事例を見学しました。
- ◆まちづくり構想部会の部会員や地域住民の方々、久名誉教授、行政関係者など約30名が参加しました。
- ◆洛西口～桂駅間の高架下空間や駅周辺を見学したあと、意見交換を行いました。

【参考】洛西口～桂 駅間プロジェクト(京都市ホームページ)



情報提供 & 意見交換

《参加した皆さんからの主な意見・感想》

- ◆我々の地域ではたくさんの地域にわたって高架下ができるので、各地域内だけでなく、他の地域の方とも話し、全体像を作らないといけないと感じた。
- ◆我々の地域でも、高架下が全体として連携していくと、うまくいくのではないかと、ぶらっと一周してみようとする人の流れが生まれるのではないかと考えた。
- ◆阪急電鉄から、「高架下の利活用にあたっては、商業施設のみならず、地域や行政のニーズも踏まえたまちづくりが重要と考えており、例えば洛西口～桂駅間では、2015年に京都市と包括連携協定を締結し、官民連携による高架下活用を進めている。こうした協定がなくても、地域の状況や関係機関との協議により柔軟な対応が可能である。高架下への施設整備に関する規制については、見学いただいたような用途・規模の施設であれば、関係法令に基づき整備が可能と思われる。」との説明がありました。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「見学して一番良かったのは、マルシェをしていた広場。阪急電鉄が“場”を提供し、住民が手作りで運営し、まちを盛り上げていた。オープンエアで天候に左右されず、通りすがりの人にも賑わいや活動が目に見えて伝わる。従来の会館などの建物は、中で何をしているのか、外からは全く見えない。今回、良いヒントがもらえた。」「高架下の利用に注目しがちだが、高架下とまちとの関係性がとても重要で、これからそこも含めて検討していく必要がある。」とのお話がありました。

